

○本地域では近年中規模肉用牛繁殖農家の規模拡大が進んでいる一方、小規模高齢農家（繁殖経営において、飼養頭数で74%、戸数で33%を占める）の離農により平成23年時の9,400頭から5年間で12%減少し、産地の規模縮小が進行している。全国的にも同様の傾向があり、多数を占める小規模高齢者の離農により、母牛頭数は減少しており、子牛価格の一層の高騰につながっている。そのような中、国は、関係事業者が連携・結集し地域ぐるみで収益性を向上させる、高収益型畜産体制（畜産クラスター）の構築を推進している。本地域でも「ながさき県北畜産クラスター協議会」が発足し、家畜飼養施設の整備、効率的な飼料生産のための機械整備とともに、イネWC Sや地域内粗飼料流通など効率的な飼料確保により収益向上を図る動きが見られる。

○また、管内養豚経営においては、収益性向上を図るため、多産系の母豚への更新が進んでおり、畜産クラスターの取組みによる衛生管理施設や環境施設の整備が検討されている。

具体的な成果

1 規模拡大意向農家への支援

■事業計画等支援

クラスター事業を活用し、

繁殖牛舎3棟(70頭増頭、佐世保1、平戸2)

を整備できた。

■クラスター協議会運営支援

クラスター協議会への支援(総会、作業部会等)を実施した。

2 繁殖成績の向上

■繁殖管理実証試験

ICT機器を活用した実証農家の分娩が短縮

349日→342日

■繁殖向上指導

重点指導農家の平均初回授精日数

北松地区 124日→94.8日

平戸地区 68.1日→64.5日

3 長崎型新肥育技術の普及

畜産研究部門と連携し、対象農家へ聞き取りを行い、飼養管理基準作成に向けた支援を実施した。

→**新規取り組み農家1戸増**

4 養豚経営基盤強化への支援

■クラスター協議会設立支援

クラスター協議会の設立希望があり、設立への支援を実施した。県北地区において初の**養豚のクラスター協議会**が設立した。

普及指導員の活動

通年 事業計画作成支援(肉用牛、養豚)
協議会や農家と協議を行い、事業計画作成を行った。

通年 クラスター協議会(肉用牛、養豚)
協議会と連携し、クラスターの設立支援やクラスター計画の変更等の支援を実施した。また、作業部会での機械リースの優先順位等の助言を行った。

4月～5月 実証試験結果周知
各地区の繁殖和牛部会にてICT機器を活用した繁殖管理実証試験の結果をチラシにして周知した。



通年 肥育農家巡回

長崎型新肥育技術取り組み農家に対し、定期的な巡回を実施した。

通年 繁殖巡回

関係機関と協議し、重点指導農家を選定(北松地区8戸、平戸地区7件)し、定期的な巡回を実施した。



普及指導員だからできたこと

- ・巡回前後には関係機関にはたらきかけ、効果的な巡回を意識した打ち合わせを実施する等の調整を行うことができた。
- ・各農家の課題に沿った専門的な指導を実施することができた。